

2023年12月19日発行

発行責任者

立憲民主党神奈川県議会議員団

佐々木ナオミ

〒250-0875

小田原市南鴨宮3-6-13 天野ビル1F西

phone.0465-46-6831

fax. 0465-46-6857

<https://naomi-sasaki.com/>

No.20

神奈川県議会議員  
佐々木ナオミの

県政リポート



## 令和5年度第3回定例会で一般質問

神奈川県議会令和5年度第3回定例会（後半）では、以下の8項目について一般質問を行いました。

- 1\_性的マイノリティのパートナーシップ制度について
- 2\_産後ケアの推進について
- 3\_災害時における市町村の医療救護活動への支援について
- 4\_イノシシについて
- 5\_自伐型林業について
- 6\_事業承継支援の取組について
- 7\_かなテクカレッジの利用促進について
- 8\_県立高校における不登校対策について



### 性的マイノリティの パートナーシップ制度について

4年前の県議会での初めて的一般質問で、県としてのパートナーシップ制度の導入を取り上げ、知事からは「導入しない」という答弁。

4年たって性的マイノリティをめぐる状況が大きく変化した今、再度、黒岩知事に、県としてのパートナーシップ制度の導入を求めました。

LGBT理解増進法が成立しましたが、これでは差別はなくならないということで、増進法には明記されなかったアウティングの禁止を条例で規定する自治体も出てきています。また、各地で起きた同性婚をめぐる裁判で、違憲、または違憲状態との判決が出ています。今年7月には神奈川県内すべての自治体でパートナーシップ制度が導入された今こそ、県としてもパートナーシップ制度を導入すべきと訴えました。

知事からは、すべての自治体が導入したから必要ない、との答弁。県で取り組めば、他県との連携も行えること、そして、何より、県が性的マイノリティへの差別を決して許さない、という姿勢を打ち出すことが、「ともに生きる社会かながわ」を掲げる県の責務ではないかと思います。

すでに他県では、パートナーシップ制度のさらに先を行く、ファミリーシップ制度を導入する動きもあります。神奈川県が人権分野で後れを取っている状況は、大変残念だと指摘しました。

### 災害時における市町村の 医療救護活動への支援について

本年は、関東大震災から100年。小田原市をはじめとする県西部は、面積の広さに対して、災害拠点病院を始めとする医療機関や、災害時に市町村が設置する救護所の数が少ない状況です。

発災時には、医師の皆さんも被災する可能性があり、救護所で必要な医師や看護師の人員確保、搬送体制の確保など、課題は山積です。市では情報の収集をし、県への支援要請を行うことになっています。しかし、その要請が大規模災害時の混乱の中では難しいことも予想されるため、私からは、県においては、市からの要請を待つだけではなく、主体的にプッシュ型で支援を行うことや、平時から市町村との情報共有を密にしておく必要性を訴えました。

来年度は、首都直下型地震を想定した全国規模の医療活動訓練が関東ブロックで開催の予定です。県が行う訓練に企画段階から市町村に参加してもらい、地域ごとの課題に応じた支援についても、連携して検討を進めるとの知事からの答弁。一刻も早い体制構築が求められます。



小田原市の仮設救護所設置訓練の様子

## 産後ケアの推進について

産後ケア事業は、産後に家族等からの十分な家事や育児の支援を受けられず、心身の不調や育児不安のある方に、助産師などの専門家がサポートをするもので、数日宿泊できる宿泊型や施設に通うデイサービス型、自宅に訪問するアウトリーチ型があります。

しかし、設置主体は市町村であるため、同じ神奈川県であっても、それぞれの市町村によって利用できるサービスに差があるのが現状です。また、小田原市をはじめとした県西地域は、産後ケア施設がまだまだ少なく、宿泊型はひとつもありません。さらに、国が誰もが利用できるように進めているにもかかわらず、いまだに利用者を限定している自治体も多い状況です。地域間の格差をなくし、どこに住んでいても、安心して産後ケアを利用できる環境整備に、県がもっと力を入れてほしい、と訴えました。

知事からは、医療施設や助産所へ産後ケアの実施を働きかける、市町村に対し県が広域的な視点での施設紹介などのコーディネートを行う、県のホームページでその重要性や効果等の情報を充実や市町村ごとに利用できるサービスなどについても分かりやすく掲載する、との前向きな答弁がありました。

多くのお母さんたちに、もっと気軽に、産後ケアを利用してもらい、楽しく幸せな子育てをしてほしいと思います。これからもさらなる充実に向けて、取り組んでいきます。



オーガニックファーマーズマーケットにて！若手就農者の皆さんと！



小田原・足柄地域連合の歳末あすけい募金活動に参加！



所属する県議団が、多くの自治体や団体の皆さんからいただいた要望をまとめ、県知事へ提出。



水野もと子参議院議員主催の政策トークセッション@小田原！  
ゲストは白眞勲前参議院議員でした！  
県西の仲間の地方議員の皆さんも！



知事に届けた立憲民主党県議団の要望書を、鳥海小田原副市長へも、ご報告とともににお届け！



10/18 知事に届けた立憲民主党県議団の要望書を、鳥海小田原副市長へも、ご報告とともににお届け！



10/17 生誕創立100周年記念式典



報徳更生寮の100周年記念式典。保護司としての活動も6年目です。

## 佐々木ナオミもハマる！

韓国ドラマ「パンドラの世界～産後ケアセンター」大企業の史上最年少重役となつたいわゆるバリキャリの主人公が、出産を機に新米ママとして経験する苦難と成長をケアセンターを舞台に描いたコメディ。日本以上に少子化に苦しむ韓国の子育て事情と産後ケアの重要性をエンタメを通して学べます。ママたちの「良いママ競争！」がリアルです（笑）

### パレスチナ問題について

12月8日、即時停戦を求める国連決議は米国の拒否権発動によって否決され、その後もイスラエルによるガザ地区への攻撃は依然として続いています。13日現在ガザ地区の犠牲者数は18608人。そのうち約半数の8000人が子どもだろと言われています。これは、イスラエルの自衛権とは程遠い、ジェノサイド（大量虐殺）に他なりません。11月18日、19日に小田原で平和を求めるキャンドル集会と、パレスチナ映画「ガザ 素顔の日常」という映画会を開催し、私も実行委員として参加しました。子どもを殺すな！ひとりも殺すな！即時停戦の実行を強く求めます。



石川大我参議院議員主催の勉強会にて。講師の鈴木エイト氏。旧統一教会問題について学ぶ。



9月・10月は各地域の県民祭にお邪魔させていただきました。



老人クラブ連合会大会に参加。表彰を受けた地元の支援者さんとともに。

11/21



Facebook ページ



公式ホームページ

